

Working  
for  
Public Health

なんでもない毎日を  
健康でいるしあわせを守りたい。

健康を守り、未来を変える

# 公衆衛生医師



# 公衆衛生医師とは



## 社会の仕組みを変え、病を根本から治す

公衆衛生医師は行政の中で地域医療に従事する医師です。地域全体の健康づくりや保健衛生の計画づくりを行うと同時に、医療に関わる条例を制定したり、予算の獲得にも携わるなど、自治体の重要な役割を担います。香川県では県庁と各所の保健所で、公衆衛生医師が活躍しています。公衆衛生医師と臨床医はどう違うのでしょうか。それは、病気に対する対処の仕方に違いがあると言えます。病気になってしまった人に対応するのが臨床医とすると、公衆衛生医師は、病気になる人をできるだけ少なくするために、社会全体に働きかける「先手」の医療を行います。たとえば肺がんになった人に抗がん剤治療や手術治療を行うのは臨床医の役目ですが、公衆衛生医師は肺がんの一因である喫煙率を減少させるために行政として何ができるかを考え施策を行います。喫煙率を数パーセント減少させることができれば何万人という人の命を救うことができます。その意味で行政の医師は、専門的な知識や手技はもちろんですが、病を社会全体の問題としてとらえる視点や、対策を考え各所と協力しながら実施していくというマネジメントの手腕を発揮し、地域社会の健康に大きく貢献する役割を担っています。

## 幅広い分野で活躍する公衆衛生医師

- 生活習慣病対策 (糖尿病や高血圧、脳卒中などの予防、特定健診受診率向上など)
- がん対策 (がんの予防、がん検診受診率向上、精度管理など)
- 感染症対策 (結核、HIV、風疹、麻疹などの感染症対策)
- 精神保健福祉 (ひきこもり、自殺対策、自傷・他傷の恐れのある患者の措置入院など)
- 食品衛生 (食中毒対策、飲食店許可)
- 医事業事 (医療監視、毒劇物監視)
- 母子保健 (貧困、児童虐待)
- 健康危機管理 (新型インフルエンザ、エボラ出血熱などのアウトブレイク、腸管出血性大腸菌の食中毒の流行などへの対応や災害時に対策本部での調整役)
- 難病対策
- 高齢者福祉
- 地域包括ケア
- 動物愛護
- 被爆者援護
- 浄化槽対策
- 水道水
- 環境 (廃棄物)
- 温泉監視
- 生活保護
- アスベスト
- 浴場の水質検査



## Career Path

## 香川県の公衆衛生医師のキャリアパス

これはキャリアパスの一例です。本人の適正や希望により、対応いたします。



年収は臨床研修2年修了の技師で915万円程度、卒後25年の保健所長で1,470万円程度です。

# Top Message

## 公衆衛生医師という使命

香川県健康福祉部  
医療調整監

星川 洋一

Yoichi Hoshikawa

公衆衛生医師は、行政の中で医学や公衆衛生の知識を生かし、人々の健康増進に尽力する医師です。目の前の患者さんや病状を診るというより、患者さんの背景にある社会問題に踏み込んで病を根本から解決していきます。

生活習慣病対策もそのひとつ。生活習慣は成人してからはなかなか改善しにくい反面、子ども時代に意識づけを行うことで改善効果が期待できることから、香川県では全国に先駆けて県下の小学4年生に生活習慣病予防健診を導入しました。これは国会でも取り上げられ、全国的に注目されています。小さな町の取組が、香川だけではなく日本全体に波及しているのです。この健診の実現のためには学校や教育委員会、医師会など関係機関の協力が必要で、各プロセスで幅広い分野の人と連携しています。そのぶん、1人の医師では到底できないような結果につながるという喜びがあります。さまざまな分野の人の知識やネットワークをつなぎ合わせると、大きな力になる。それが行政の醍醐味です。人と話すことが好きで、チャレンジ精神を持つ前向きな方にはやりがいのある職場です。

香川県は公衆衛生医師のキャリア形成を考慮し、香川大学と連携して社会医学系専門医を取得できる制度を設けています。ワークライフバランスも重視しており、各医師のライフステージに合わせてサポートを行っています。自分の専門性を生かしながら、大きな視点で未来の香川を変えていく。そんな仕事にあなたも携わってみませんか。





1

## 保健所医師に 1日密着

8:30 業務開始

8:40~11:40 HIV検査

保健所では、無料・匿名でHIVの検査を行っています。



11:40~ 協議

管内で起こっている事案(感染症集団感染、結核発生、犬の苦情、医療機関からの問い合わせ等)についての報告を受けます。

12:00~13:00 昼休み

13:00~ デスクワーク

書類に目を通し、決裁等を行います。

15:00~16:00 結核のカンファレンス

メンバーは、感染症を担当する保健師・放射線技師・事務職等。接触者健診等の方針を決めます。結核は今でもある感染症です。



17:15 業務終了

感染症・精神通報・食中毒疑い等、緊急な事案があれば、残ることもあります。

# 公衆衛生医師の日常 REPORT

1

## 県庁医師に 1日密着

8:30 業務開始

8:30~12:00 記事や論文チェック

施策に関連が深い医学論文を要約して担当へ情報提供します。



12:00~13:00 昼休み

なるべく早歩きで、10分ほどの距離にある店へ食へに行きます。週2日は地下のトレーニングルームで10分間の筋力トレーニングも。

13:00~15:00 協議

保健師、管理栄養士、事務など多職種の職員たちと事業について協議。事業の方針や進め方について公衆衛生医師としての専門的見地から助言をします。



15:00~16:30 会議に出席

16:30~  
講演や出前講座の  
プレゼンテーションの準備

17:15 業務終了

会議や緊急の協議があれば、残ることもあります。



## 公衆衛生医師の役割

公衆衛生医師は香川県庁または各保健所に配属されます。業務内容や役割は異なりますが、異動で両方の立場を経験することもあります。お互いに協力して社会での疾病管理を行っています。

### 社会での疾病管理を協同して行う

現場視察

政策立案

政策決定・実施

### 県庁

施策の決定に従事

他方面の関係者に話を聞き情報収集

審議会での議論

政策案・条例案・予算案の策定

県議会での承認を経て実施へ

### 保健所

施策の実施に従事

施策の意義や内容の共有

保健所管内で市町と協力し実行へ

健康増進に寄与

## 健康危機管理

### 地震などの自然災害や、新型インフルエンザ発生など 非常時の公衆衛生活動

地震・津波・台風などの災害時や、エボラ出血熱など新たな健康危機が発生した場合、公衆衛生医師は行政の災害対策本部で調整にあたります。被災地で被害の把握を行い、県内外の機関とともに具体的な対策を考え、実行します。

災害時に対応できるように平時に訓練を行っています



保健所での感染症対策



県庁での災害訓練

## 臨床を経験したからこそ、公衆衛生医師の重要さが分かる。



医師の仕事の範囲は非常に広く、臨床はその一部にすぎません。私は自治医大卒業医師として、現在のような多科ローテーション研修を受け、当初は小児科医師として勤務していましたが、保健所医師が少ないということで卒後6年目に保健所に行きました。8年ほど在籍した後いったん退職し、今は再度保健所に在籍しています。へき地医療支援センターにも所属し、午前中はほぼ毎日離島(豊島)の診療所で診察しています。公衆衛生は非常に重要な分野で、それだけに特化しても十分にやりがいを持てるものです。私のように臨床の立場も分かる位置から関わるのも楽しいものです。医師の仕事はどれも面白く、深いものです。みなさんもせっかく医師になるのだから、いろんな分野を経験してみませんか。

■香川県小豆総合事務所  
香川県小豆保健所

小豆事務所次長 岩井 敏恭  
小豆保健所長

1979年 自治医科大学医学部卒業  
1984年 香川県琴平保健所配属  
その後9年ほど香川県に在籍、県庁の環境保健部健康増進課兼務  
退職後、健診センターや病院勤務等を経て、5年ほど前から現職に

## MESSAGE 先輩公衆衛生医師からのメッセージ

## 香川県民の健康を守る対策を作り上げるやりがいと責任感。



私は歯科医師として、香川県の公衆衛生行政に携わっています。香川県では平成25年に歯科口腔保健推進計画を10年計画で策定しており、30年度にその計画の中間見直し(改定)を行いました。私はその担当となり、歯科疾患等のデータ収集や中間評価を行うとともに、計画後期における課題の抽出とその対策など、中間見直しの改定案を作成しました。関係者などの意見を踏まえ修正した後、県議会の議決を経て、正式に計画が改定されることとなります。私の思いも込めた対策、目標値などの計画が県の施策の一つとして位置づけられ、今後その計画に沿って県民の歯の健康づくりが推進されることは、とてもやりがいを感じる場所です。皆さんにもぜひ、地域の健康や医療レベルの維持向上に貢献できる公衆衛生の道を香川県で目指してほしいと思います。

■香川県健康福祉部健康福祉総務課(兼)  
医務国保課国民健康保険室・薬務感染症対策課

副主幹 林 浩範

2003年 岡山大学歯学部卒業  
岡山大学歯学部予防歯科学講座入局  
2005年 医療法人新生活会 大手前歯科診療所勤務  
2010年 香川県入庁

# 香川大学医学部 公衆衛生学教室との連携

香川県と香川大学は、  
公衆衛生医師の「社会医学系専門医」取得をサポートしています。

## 香川大学医学部公衆衛生学 平尾智広教授に聞く 公衆衛生医師の魅力とやりがい



香川大学 医学部 公衆衛生学 教授  
平尾 智広

日々の臨床の中で「患者さんを取りまく環境や社会の仕組みを変えないとより良い医療を提供できない」と考えたことはありませんか？ 臨床の現場では、世の中の問題が様々な形で患者さんに影響することはよくあることです。社会の仕組みを変えること、それも医師としての専門性を持って社会と向き合うことは、公衆衛生医師の重要な仕事です。行政の一員として、多くのプロフェッショナルと一丸となって、医療や保健、福祉の問題を解決するという、非常に大きな役割を担うことになります。

救急、小児、産科などの医療問題、地域の医師不足の問題、がんや糖尿病などの生活習慣病の問題は、普通の行政官だけでは解決できません。社会医学の視点を持った医師の関わりが必要なのです。

公衆衛生医師としての活動は、医師としてのスキルアップやキャリア形成にも繋がります。「行政に入る=医師をやめること」ではありません。むしろより広い分野の人々と接することにより、臨床現場では得られない経験を積むことができます。公衆衛生医師の道を究めるにせよ、いつかまた臨床に戻るにせよ、社会医学に携わった経験は医師を大きく成長させるのです。

公衆衛生医師が行う仕事は、自分自身では見えないところにも広がっていきます。ひとりの熱意が多くの人を巻き込み、目の前の

患者さんだけではなく、社会で困っている会ったことのない多くの人にも届けられるのです。自分の携わったプ



プロジェクトが社会に与えるインパクトの大きさに驚き、同時に畏怖の気持ちを持つこともあるでしょう。そのような経験を皆さんも是非味わってください。

興味を持たれた皆さん。本教室では社会医学の研究教育機関として、志ある皆さんのサポートを行っています。そんなあなたに「まずやってみよう」というメッセージを送ります。一步を踏み出すことで、あなたと社会の未来が、良い方向に変わっていくのですから。

## 香川大学医学部公衆衛生学教室について

良質の医療を実践するためには、社会医学の視点を持つことが極めて重要です。当教室は実践経験豊富な教授陣が、医師、看護師をはじめとする医療人に卒業後教育を提供しています。また、「医療の質・安全」「メンタルヘルス」「生活習慣・糖尿病」「国際保健医療」「感染症対策」「小児生活習慣病対策」「医療経済・技術評価」といった社会に貢献するさまざまな研究がおこなわれています。

ホームページ ▶ <http://www.kms.ac.jp/~koueisei/>



■お問い合わせ先

香川県 健康福祉部 健康福祉総務課  
〒760-8570 香川県高松市番町四丁目1番10号  
TEL:087-832-3252/FAX:087-806-0209

香川大学 医学部 公衆衛生学教室  
〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1  
TEL:087-891-2133/FAX:087-891-2134

香川県職員(公衆衛生医師)採用選考案内

香川県では、本庁や保健所等の公衆衛生分野で勤務する医師を募集しています。  
詳しくは、採用選考案内をご確認ください。

